

鐵 と 鋼 第十八年 第 參 號 昭 和 七 年 三 月 行

目 次

論 說	頁
砂鐵鑄滓の研究 (1)	
ペロースカイトとチタナイトに關する實驗	岩 瀬 慶 三 219 福 島 政 治
骸炭爐瓦斯の利用に就て	大 野 宏 228
コットレル法に依る製鐵熔鑄爐瓦斯の除塵に就て	志 賀 潔 236
ピアノ線に就て	銅 金 義 一 261
黒心可鍛鑄鐵の熱特性に就て	菊 田 多 利 男 272
抄 録	288
○ 1) 製鐵原料 ○ 鐵の酸化還元炭化と MgO との關係 ○ 2) 耐火材、燃料及驗熱 ○ 鑄鑄爐並に熱風爐用耐火材料 ○ 熱風爐の最近の進歩 ○ 微粉炭燃焼經過研究 ○ 3) 銑鐵及鐵合金の製造 ○ 鑄鑄爐瓦斯導管内に油の出現 ○ 4) 鋼及鍊鐵の製造 非金屬夾雜物と脱酸劑特に Zr, Na, Ca の影響 ○ 5) 鑄造作業 ○ ムーア熱風熔銑爐 ○ 型砂試驗片製作に就きて ○ 6) 鍛鍊及び熱處理並に各種仕上法 ○ Cr 鍍金の現状 ○ Al-Cr-Mo 鋼窒化法 ○ 針金の酸に洗強さ及び亜鉛鍍金の影響 ○ 不銑鋼熔接 ○ 高級オーステナイト Cr-Ni 鋼析出硬化調質 ○ 7) 鐵及び鋼の性質 ○ 鑄鐵の構造寸法と強度の關係 ○ 鐵-酸素-水素系の 1,000°C 以上に於ける平衡 ○ 軟鋼及び Cr-Ni オーステナイト鋼の河水中に於ける腐融疲勞試驗 ○ 粒子境界炭化鐵の生成と低炭素鋼機械的性質 ○ 鐵-白銅-磷三元系合金研究 ○ 8) 非鐵金屬及合金 ○ 金屬ニツケル化學分析 ○ Al-Mn 系合金について ○ 眞鍮のキユボラ操業 ○ 砂型高級 Al 合金鑄物 ○ 9) 化学分析 ○ 酸化亜鉛を用ふる Co の定量法 ○ 鹽基性臭素酸水銀に依る鐵の容量分析法 ○ ヒペリヂニウム・ビペリヂール・ヂチオフォーオメートに依る銅の微量比色法 ○ 炭素鋼より MnO, MnS, FeS, SiO ₂ 等の包含物を電解的に抽出する方法 ○ 11) 雜 ○ 鋼製鐵道枕木	
雜 録	309
珠磊鐵山に就て ○ 埃太利の製鋼業死滅の運命に頻す ○ ソヴィエト露西亞の 1932 年銑鋼生産計畫 ○ 印度の地方別、會社別、鐵鑛石、並銑鋼産額 ○ 瓦斯用鋼管の自給自足近し ○ 米國輸出鐵屑統制 ○ 硫安の販賣協定 ○ 内外最近刊誌參考記事目次 ○ 昭和 7 年 1 月中(八幡)製鐵所銑鋼出產高表 ○ 昭和 6 年 12 月中重要生産月報抜萃 ○ 昭和 7 年 1 月中外國銑輸入高 ○ 主要製鐵所に於ける鐵鋼材生産高調 ○ 世界鋼塊及鑄物並銑鐵生産高表	
○ 特許出願公告及特許抜萃	316
日本鐵鋼協會記事	318
商 況 (販賣旬報 第 187. 188. 189 號)	319

“ TETSU TO HAGANE ”

THE JOURNAL OF THE IRON AND STEEL INSTITUTE OF JAPAN.

Vol. XVIII, No. 3. MARCH 25. 1932.

Some Experiments With Perowskite (CaO·TiO ₂) and Titanite (CaO·TiO ₂ ·SiO ₂), by Keizo Iwase, <i>Rigakhakushi</i> , & Masaji Fukushima <i>Kogakushi</i> ;	219
On the Utilization of Coke Oven gas at Imperial Steel Works, by Hiroshi Ono.	228
On the Cleaning of Iron Blast Furnace Gas by Cottrell Process; by Kiyoshi Shiga, <i>Rigakushi</i>	236
On the Piano Wire by Giichi Dogane; <i>Kogakushi</i>	261
On Thermal Characteristics of Black Heart Malleable Cast Iron by Tario Kikuta, <i>Rigakuhakushi</i>	272
Abstracts	288
Miscellaneous	309
Patents	316
Proceedings of the Institute	318
Iron and Steel Market	319

PUBLISHED AT THE INSTITUTE OFFICE.

Higa-hi-Shichigo-kwan, No. 2, Marunouchi-Sanchome, Kojimachi-ku
TOKYO JAPAN,
(Tel. Marunouchi, No. 3,626)